

公表：令和2年10月17日

事業所名 こどもプラス兵庫教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			・児童が納得するよう活動スペースを区切ったりしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	2		・職員が少ないと感じる時もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2		・トイレは身体障害の児童にとっては狭く使いにくいいため介助が必要である。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			・日々の児童の様子に合わせて考えながら取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			・アンケート解答の時間に余裕をもてるように渡している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			・しっかりと行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	2	・しっかりと行い、職員に周知の上、業務改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		4		・運動に関する研修は定期的に行っているがその他の研修の機会は増やしていかなければならない
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・保護者のニーズに添った支援ができるよう、送迎時や電話でも対応しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	3		・内容を確認し、使用している。また共通理解を深めるようにしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2		チームでの統一した支援を目指し、話し合いを増やし、意見交換を円滑にする。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	2		・立案の際は主となる職員を交替しながら全員で取り組んでいる。全職員が取り組むことにより、固定化を防ぐ。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			・情報を収集して決めているがもう少しこまやかにしていきたいため工夫する。

	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		・周知が甘い部分があるので、今後は周知徹底を目指す。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			4	・時間が無く行えない時も必ず別で時間を設ける。役割分担まではできていないため今後の課題とする。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			・できている。休みだった職員も周知している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		・記録の内容もさらに深めたものにしていきたい。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断しているか	4			・定期的に行っている ・それぞれの見解を述べ、一致した時に計画を見直すようにしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	2		・意識して取り組んでいる。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			・児発管が参加するが、事前に話し合いをして意見をまとめている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	2		・学校との連携がうまくいっていない児童もいる・保護者の中には学校の情報等を提供してくれなかったり把握していないため学校と直接連絡を取る事が多いため連絡をこまめにとる。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			4		・今の所ない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3			・支援会議にて情報共有することはあるが個別に情報交換とまではいかない・就学前の情報は紙面で行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			4		・今の所該当する児童はいないが今後に備え取り組んでいきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		2	2		・数回は研修を受けたことがある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		3	1		・大人との交流はあるが同世代の児童との交流はできていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		2	2		・参加はしていないが、情報収集はしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4				・送迎時に詳しく伝えるようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1		3		・質問されたことには応えることができている。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			・伝える時は詳しく伝えるよう気をつけている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・その場で答えられない時は持ち帰り話し合っている。相談しやすい関係性を築くよう心掛けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	3	・保護者同士の交流を望んでいない家庭もあり検討中・開催してほしいという意見も今の所ない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			・苦情には真摯に対応するよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			・毎月お便りを発行している
	35	個人情報に十分注意しているか	4			・鍵付きの書庫に保管しており、写真の使用等は特に注意している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			・伝わるように丁寧にゆっくり行う。視覚支援なども活用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4	・地域の方を招待するような規模の行事はまだできていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1		・保護者に周知していないマニュアルもあるため掲示の位置や、お知らせの方法を検討する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・事前に知らせずに行っていることもある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1		・動画研修は受ける機会があるがさらに研修を行えるようにする。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2		・現時点で身体拘束を行う児童はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			・該当児童には教室からの食物の提供は行っていない。医師の直接の指示ではないが、アセスメントや保護者の情報をもとに対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			・ヒヤリハットは必ず周知するようにしている